

2017花き生育情報(チューリップ花芽分化・第1報)

チューリップの花芽分化状況について(7月11日現在)

平成 29 年 7 月 13 日
経 営 普 及 課
(農業革新支援担当)

新潟県農業総合研究所園芸研究センターのチューリップ花芽定期観測結果から、今年の花芽分化及びノーズの伸長状況について主要 3 品種のデータを紹介します。

1 供試球根 (調査品種)

農業総合研究所園芸研究センター本場 (砂壤土) 産球根

品種 (系統)	掘取日	調査サイズ	初期乾燥	貯蔵
プレルジューム (T)	6 月 15 日	11cm	自然乾燥	自然貯蔵
イルデフランス (SL)	6 月 15 日	11cm	自然乾燥	自然貯蔵
メリーウィドー (T)	6 月 15 日	11cm	自然乾燥	自然貯蔵

2 花芽分化の状況

- (1) 本年の花芽分化は、いずれの品種も平年に比べて 5 日程度遅く始まった。
- (2) 品種別の花芽分化段階は、プレルジュームは分化始期 (Ⅱ) ~ 内雄ずい分化期 (A2) で、平均すると平年並みに追いついてきているものの、調査個体間のばらつきが大きい。イルデフランスは分化始期 (Ⅱ) ~ 内花被分化期 (P2)、メリーウィドーは未分化期 (Ⅰ) ~ 分化始期 (Ⅱ) と、両品種とも平年よりも 1 週間程度遅れている。
- (3) ノーズの伸長は、プレルジュームではほぼ平年並み、イルデフランス及びメリーウィドーでは平年よりやや遅れている。

3 具体的データ

別紙参照

※ 次回の生育情報は、7 月 16 日調査のチューリップ花芽分化 (第 2 報) をお知らせする予定です。